



「白糠郷土かるた」で交流する高校生と白糠学園5年生

TOPIC
10
3
9

白糠の魅力について学び合う

白糠学園と白糠高校が連携授業

白糠学園5年生と白糠高校1年生が「総合的な学習（探究）の時間」で小高連携交流授業を行いました。5年生は、グループごとに考えた海産物やシソなど、白糠の特産品の魅力を高校生に発表。高校生は、白糠の歴史や伝統文化などを題材に、取り札の原画から読み札まで自分たちで手作りした「白糠郷土かるた」をしながら、白糠の魅力を伝えました。高校生の對木隼祐さんは「かるたを楽しんでもらえて良かったです」と話していました。

TOPIC
7
3
7

人材育成へ連携協定

掘削技術専門学校と白糠高校が協定

掘削技術専門学校（井上政史校長）と白糠高等学校（田村信明校長）が連携協定を締結しました。協定により、環境教育に取り組む白糠高等学校の生徒が掘削技術専門学校で地熱などについて学べるほか、同校から掘削技術専門学校へ進学した場合、授業料の10万円、学校推薦があれば入学金も免除になります。町役場で行われた調印式では、井上校長と田村校長が協定書に署名。井上校長は「未来を切り拓く、環境人（エコクル）を育てていきたい」と話していました。



協定書に署名した井上校長（左）と田村校長（右）

TOPIC
11
3
10

最新式の救急自動車を配備

高規格救急自動車納車式

釧路市西消防署白糠支署が配備する高規格救急自動車の納車式が白糠消防庁舎で行われ、関係者や来賓など約20人が納車を祝いました。同車は、北海道エアポート株式会社の「消防車・救急車等整備事業」により助成を受けて町が整備。2009年に配備した現行車両を更新するものです。車内には防振機能付きストレッチャーをはじめ、自動体外式除細動器、自動心臓マッサージ機など、最新式の資機材が搭載されています。



テープカットで納車を祝う関係者



テープカットをする中尾社長（左から3人目）

TOPIC
8
3
7

地域の雇用創出に期待

シフトプラス白糠営業所落成式

全国自治体のふるさと納税関連業務を請け負うシフトプラス（大阪市、中尾裕也社長）白糠営業所の落成式が、旧庶路幼稚園跡地（庶路2丁目）で行われ、関係者約60人が完成を祝いました。式典では、中尾社長が「新営業所の落成を機に、地域の雇用創出に貢献したいです」と抱負を述べました。現在、同営業所の職員は7人。今後、繁忙期のパート職員を含め、数年で100人近くまで職員を増やす計画です。

TOPIC
12
3
11

家庭で実践できる省エネ・節電について学ぶ

地球温暖化対策セミナー

町環境衛生会（岸本秀彦会長）主催の地球温暖化対策セミナーが社会福祉センターで開催され、町民約40人が家庭で実践できる省エネなどについて学びました。講師は、北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんが務め、家電の消費電力を抑える使い方や家電選びのポイントなどを説明しました。折出清子さんは「今日から掃除機などを使う場所で省エネモードに切り替えて、消費電力を抑えていきたいです」と話していました。



節電について情報共有をする参加者

TOPIC
9
3
11

タオル400枚を寄贈

女性ボランティアクラブ地域貢献

女性ボランティアクラブ（小野キサ会長）が特別養護老人ホーム清和園の入所者にタオル400枚と箱入りティッシュ80個を寄贈しました。入所者の体を拭くタオルが不足していることから、地域貢献の一環として、毎年タオルを寄贈しています。この日の贈呈式には、同クラブ顧問の廣谷スマ子さんをはじめ会員4人が清和園を訪れ、施設職員にタオルとティッシュを手渡しました。廣谷顧問は「これからも寄付は続けていきたい」と話していました。



タオルと箱入りティッシュを手渡す廣谷顧問（右から2人目）